

大分教育事務所訪問 68

大分市立植田南中学校に学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「地域を愛し、自ら考え行動し、共に高まり合う生徒の育成」を達成するために、「校訓」から「めざす生徒の姿」を設定し、そのような生徒になるためのつるべく「資質・能力」を設定することで、これまで培ってきた本校の歴史と現在の課題を見事にリンクさせています。このような目標の設定は、多くの学校の参考になるものです。

また、それぞれの取組指標に対して「PT 目標（生徒の姿）」を明記することで、取組指標が何のために行われているか（生徒にどのような資質・能力をつけるか）が明確となっています。

今後とも、取組指標について検証・改善を行う際は、達成指標や PT 目標について共通理解【目的】を図ることで、それぞれの取組【手段】については、各部会や担当者任せることによって学校経営への当事者意識がより高くなると思われました。

授業から学ぶ

どの教室の生徒達も学びから逃げずに頑張っていました。特にスマイル教室やステップルームの授業への工夫や教室の環境整備から、本校が何を一番大切にしているかを感じることができました。

生徒が自分で考え行動する授業では、「課題」がとても明確でした。さらに、美術や体育では、単元計画も示されているので、生徒自身が本時に何をすべきかを理解していました。その中でも、音楽の合唱では、コロナ禍にあってどのような工夫をすれば、本時の課題を解決できるかを生徒が自ら協力して考えていました。正にピンチをチャンスに変える、そして、生徒達を信じて任せる、「生徒が主役」の授業を参観することができました。

今後は、指導案にある「振り返り」には、生徒がどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿を「生徒を主語」として記入することで、「ねらい」との連動や評価規準がより明確になります。そのような、日常的な実践を行うことで授業力がより向上すると思われました。



NO.302 2021年9月 植田南中学校

自主

小さな声で歌うから、自分の声がよく聞こえ、楽譜との違いがよくわかる。自分で発見した課題だから、解決策も考えることができる。



NO.305 2021年9月 植田南中学校

師弟同行

生徒は、友達と学び合い。先生の指導から学ぶ。教師は、それぞれの生徒の解答の様子や考えから学ぶ。



NO.303 2021年9月 植田南中学校

誠実

それぞれ大切な役割だから、認め合う。そして、協働する。だから、実験後の考察の時間が充実する。



NO.306 2021年9月 植田南中学校

見通しがあるから

文化発表会の壁画をつくる。目的と単元計画があるから、この時間にやるべきことがわかる。だから、集中できる。



NO.304 2021年9月 植田南中学校

克己

集中する。素早く動く。我慢する。認め合う。励まし合う。一人ひとりの成長から、学び合い、高め合う集団になる。